

多くの州でプレーリードッグの売買が規制されていますが、テキサス州など一部に売買や輸出が認められている州もあります。

4 輸入プレーリードッグとペスト

日本に輸入されるプレーリードッグの数は明らかではありませんが、年間少なくとも7000頭以上、多くて3-5万頭という推計がなされています。ペット用として売られているプレーリードッグのほとんどはオグロプレーリードッグ (*C. ludovicianus*) とよばれる種類とされ、ペストが流行していることが報告されているプレーリードッグに含まれています。しかし、プレーリードッグの輸出に先立ち、米国内で検査やノミの駆除が行われているという情報はなく、1998年にはテキサス州の動物業者が輸出用に係留していたプレーリードッグが、ペストにより多数死亡していたことが州の獣医学研究所と保健局によって明らかにされています。

幸いなことに、これまでは捕獲されてペットとして飼育された野生のプレーリードッグから直接人間がペストに感染したとする報告はありませんが、上記の事情からペスト発生地域から輸入されるプレーリードッグがすべて安全であると考えすることはできません。プレーリードッグとそれに寄生しているノミに対しては、十分注意が必要です。

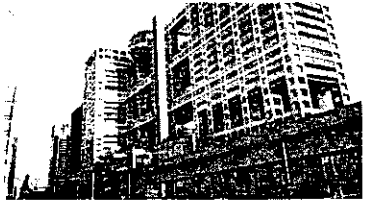
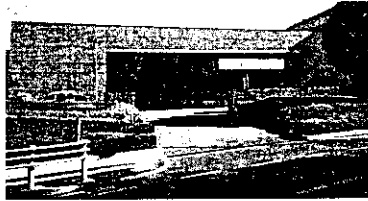
プレーリードッグ等の輸入リスが、飼育し始めてから間もなく死亡し、飼育していた人に原因不明の高熱、頭痛、筋肉痛、悪寒、リンパ節の肥大などの症状が現れた場合には、すぐに医師の診察を受け、飼育していた動物が死亡したことを伝えるべきでしょう。また医療機関では、プレーリードッグ等の輸入リスを飼育して上記の症状を呈する患者について、万一のペスト感染の可能性も念頭に置くことが必要です。

文献

1. ProVet 11月号:22-30, 1997.
2. Morbidity and Mortality Weekly Report, 37:653-656, 1988.
3. J. Wildlife Diseases, 24:399-406, 1988.
4. J. Wildlife Diseases, 30:581-585, 1994.
5. J. Wildlife Diseases, 33:706-719, 1997.
6. J. Wildlife Diseases, 33:720-732, 1997.
7. J. Medical Entomology, 29:25-29, 1992.
8. Weekly Epidemiological Record/WHO, 73:366-369, 1998.

[資料 4]: ペット愛好家の反応の一例
 (「かわいい小動物」2000年3月号:38-39)

エイズをはじめ様々な病気の研究が
 されている国立感染症研究所。



フジテレビは番組のなかでプレリーの
 危険性を伝えたというか……

**お宅のプレは
 OKだが……**

の視聴者が感じたものがちがうというこ
 とである。このちがいというものは、ど
 こから生じてしまうのか。
 あるいは、送り手というものは、それ
 を見てもらいたいために、ついセンセー
 ショナルになりやすいもの。そういった
 ところがプレを愛する人々に過剰に伝わ
 ったのかもしれない。
 とにもかくにも、プレたちに罪はない
 ことだけは明らかである。

止のために厚生省が動き
 だしたと。それだけを伝
 えたつもりですが……」
 そうですか、それは
 おかしいですね。それで
 番組に対する反響は？
 「いや、特にありませんね。
 苦情や問い合わせもほと
 んどきていないし……」
 報道については、送り
 手と受け手との間で感覚
 がちがっていることがあ
 る。これは送る側が意図
 したものと、受け取る側

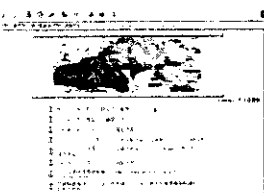
ら日本にきて、売れるま
 でに死んでしまうはずで
 すし。
 「いや、危ないといった
 つもりはないですよ。日
 本で飼われているプレ
 リーについては、影響が
 あるかどうかかわらない
 ので、そういうことをい
 ったつもりはないですよ。
 ただ、実態調査と危険防
 止のために厚生省が動き

「私たちは何も輸入禁止せよとはいって
 ない。どのくらい輸入されていて、その
 輸出国のプレリーは大丈夫なのか実態
 を調査するということですよ」
 そのために神山博士一行は、今年の1
 月には米国の研究所、3月には米国の獣
 医師会や検査所へ行って調査する予定と
 なっている。

今度はいよいよ病気の権威を訪ねてみ
 た。厚生省の要請で動きだした研究グル
 ープのひとり、国立感染症研究所の神山
 恒夫獣医学博士だ。
 神山博士は最初に、ベストはいまアフリ
 カやベトナムなどに多いが、北米のげっ
 し目でも多くなっていることは事実だと指
 摘した。その上で、
 「家畜や犬、猫、猿など指定された動物
 は除いて、どんな動物を輸入したかは申
 告しなくてもいいんですが、プレリー
 に関しては成田空港、関西空港で申告さ
 れたものだけで年間7000頭ですから、
 実際は少なくとも1万頭は輸入されてい
 るはずですよ。かわいいからって飼うの
 もいいでしょうが、飼い主が無知である
 と、動物がかわいそう。ほかの人の迷惑
 にもなりかねないですからね。いくら野
 生動物を飼うのがブームだからといって
 いいものではない」
 とキツク一言。さらに続ける。
 「私たちは何も輸入禁止せよとはいって
 ない。どのくらい輸入されていて、その
 輸出国のプレリーは大丈夫なのか実態
 を調査するということですよ」

問題なし!

手頃な値段と大きさ、愛らしい顔と仕度、なれやすい性格で、大人気のプレ
 リードッグ。日本では3、4年前から次第に人気上昇し、毎年のように
 飼われる数も増えてきた。そんなプレの前に、突如としてたたらめ空気が
 漂ってきたが……。



詳しく知りたい人は神山博士たちが
 設けているホームページへアクセス
 してみよう。
 (<http://idsc.nih.go.jp/others/jinju.html>)



神山博士の言葉は慎重だったが、ともかく日
 本のプレリードッグはセーフ?

「いくらブームでも、輸入規制がなくて
 も、いったい何が動物のため、そして私
 たちのためになるのか、いろいろと考え
 てみるのが大事です。なかには病気の
 可能性がある動物もいますし、希少動物
 もいるでしょう。動物のことに限らず、
 最近では生物に影響を与える環境ホルモ
 ンという問題だってあります。ものごと
 からいろいろ学ぶ賢い消費者になって欲
 しいんです」

また、神山博士は前述のSさんの結論
 について、③以外は全面的に肯定した。
 ④も、逆になぜいまままでニュースになら
 なかったのが不思議だという見解をと
 ったに過ぎない。そして肝心な部分につ
 いては、
 「確かにプレリーは感
 染すると、2週間ほど
 とんど死んでしまうので、
 現在いる日本のプレリー
 はほぼ大丈夫だろうと
 いうことはいえらと思
 います。しかし、プレリー
 の表面に出てこない感
 染はまだ報告されてはい
 ませんが、そういうこと
 も本当はあるのかもしれない。また、親
 から子に感染するのかわかも、いまの
 ところは何ともいえない。今後も輸入が
 増えていくとなると、万が一でも起きた
 ら大変なことになりますから、徹底的に
 調査する必要があります。野生動物と
 いうものには、私たちが知らない病気が
 潜んでいる可能性が、常にありますから
 な(神山博士)
 私たちや動物を病気から守る立場にい
 る研究者としては、あくまで結論が出る
 までは徹底追求の姿勢。言葉を慎重に選
 びながらの発言であったが、巷に流れた
 悪い噂、騒動の類はそれほど重大なもの
 ではなかったことは判明した。「安心あ
 れ。これでとりあえず、お宅のプレは問
 題ないはずだ。
 最後に神山博士の言葉をもう一度、引
 用して締めたい。

「確かにプレリーは感
 染すると、2週間ほど
 とんど死んでしまうので、
 現在いる日本のプレリー
 はほぼ大丈夫だろうと
 いうことはいえらと思
 います。しかし、プレリー
 の表面に出てこない感
 染はまだ報告されてはい
 ませんが、そういうこと
 も本当はあるのかわかも、いまの
 ところは何ともいえない。今後も輸入が
 増えていくとなると、万が一でも起きた
 ら大変なことになりますから、徹底的に
 調査する必要があります。野生動物と
 いうものには、私たちが知らない病気が
 潜んでいる可能性が、常にありますから
 な(神山博士)

世紀末のシヨッキングな噂を徹底検証

メディアが伝えた

「危ない報道」

「いや、まったくブレイリーがかわいそうだったし、ひどい報道でした。まるで彼らが全部、ベストにかかっているかのような大げさな報道でしたからね」

実際にブレイリーを飼っておられ、本誌にも出ていただいたことのある都内在住のSさんは、憤慨した声を発した。

11月18日、フジテレビのワイドショー番組「とくダネー」が、ブレイリーのベスト感染症を伝えたからだ。番組の内容はこう。

厚生省の畜共通感染症の担当者が登場し、ブレイリーがベストにかかる危険性に及んだ。それは2年前、米国のコロラド州でベストにかかったブレイリーからノミを介してある子どもに感染。ついに子どもはベストによって死亡したが、こうした死亡者が米国では年に1件は起きていたという。それを下敷きとして厚生省が研究グループを立ち上げ、情報収集した末に、輸入規制をすることが検討するというのだ。

「でもね、最後はブレイリーが真犯人といわんばかりの、それこそひどい悪者呼ばわりでしたからね」

とふたたびSさん。新聞ほかのメディアもこれと前後して報道したからたまたまではない。

「私はパソコンでネットをやっているんですが、そこへ参加している人から、私

のブレイリーは大丈夫かしら？」という声に殺到したんです。もちろん、そのネットに参加していないほかの飼い主さんからも、心配する声が多数押し寄せてきました」(Sさん)

確かにブレイリーはベストの感染に弱く、日本はブレイディングではなく、そうした野生に在る米国のブレイリーを多数輸入している。日本ですでに飼っているブレイリーにもその危険はあると思っただけの飼い主さんが、それだけの情報しか与えられなかったら、パニックに陥ったとしても無理はない。

ネットなどでブレイリーに関する情報をいち早く収集したSさんは、次のような結論を導き出した。

ブレイリー自体から人間へ感染するとは、ない。

- ②ブレイリーは感染したら100%近くが短い期間(1、2週間)で死亡するの、現在、飼育されているものなら保菌はありえない。
- ③米国の話は数年前のものであるが、獣医師さんなら前から知っており、いままさら話題にする理由がわからない。また一部のマスコミしか発表しておらず、先走りの感がある。
- ④日本におけるベスト発生の事例は昭和元年以降なく、ノミを介した感染例の報告もない。

そして……

「私自身の印象としては、な〜んだ大丈夫じゃない」というのが結論なんです。しかし、一部の事実しかとらえない人や、事実を知らない人が無責任にも騒ぎ立て、悪い噂やデマとして情報が一人歩きしてしまうことが怖いですね。これは視聴率などが目当ての、ある種の醜態に近いとは、ない。



米国では野生のなかで生きるブレイリーからノミを通じて人に感染した。

思っています」

とSさんは語る。もともとヨーロッパ地域にしかなかったベスト菌は、人間の活動範囲が広がるにつれて全世界に拡大したことも事実。そういう意味ではブレイリーも被害者だと強調した。

そこで、本誌はフジテレビの問題となつた番組「とくダネー」の担当者に問いあわせてみた。以下は担当者との一問一答である。

「どういった趣旨でこの番組を作られたんですか？」

「毎回、視聴者が興味を持たれるようなニュースをとりあげていると思っております。つまり、いまはブレイリーを飼っておられる飼い主さんも多いですし、飼っておられないかたでも名前は知っていますよね。そういう人たちに伝えたいべき価値があると」

「では、なぜ2年前でなくて、いまなんですか？」

「ちょうど前日にうちの報道のニュースでとりあげられたということがひとつ。そして10年ほど前から、米国でいくつか死者の例も出てきているんで、厚生省が懸念して動きだしたと。こういうことは警告として視聴者にも知らせるべきだと思います」

「おたくのブレイリーも危ない」というような、かなり煽つたものだったと聞きましたが、例えば米国でも1年に1、2件程度です、世界全体からいっても米国の死者の例は0・8%に過ぎない。

それが即、日本のブレイリーが危ないとはいえないと思っんですが、まして感染していれば米国か

おまけのプシは

ブレイリーのベスト騒動 顛末記

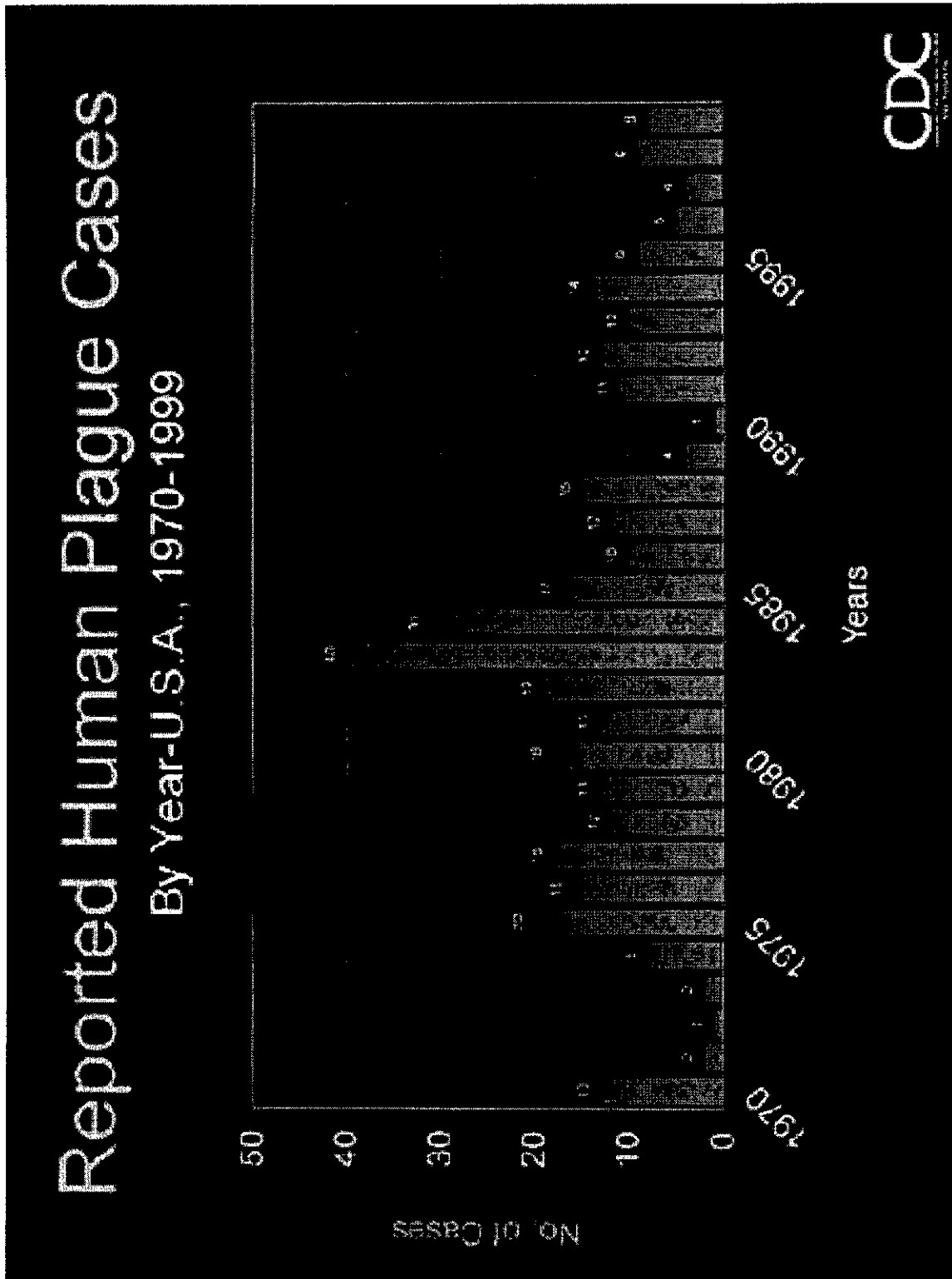
[資料 5]: 北海道でのエキノコックス流行状況
(神谷晴夫、小児科、38:1267-1273、1997)

表 北海道での多包条虫流行状況

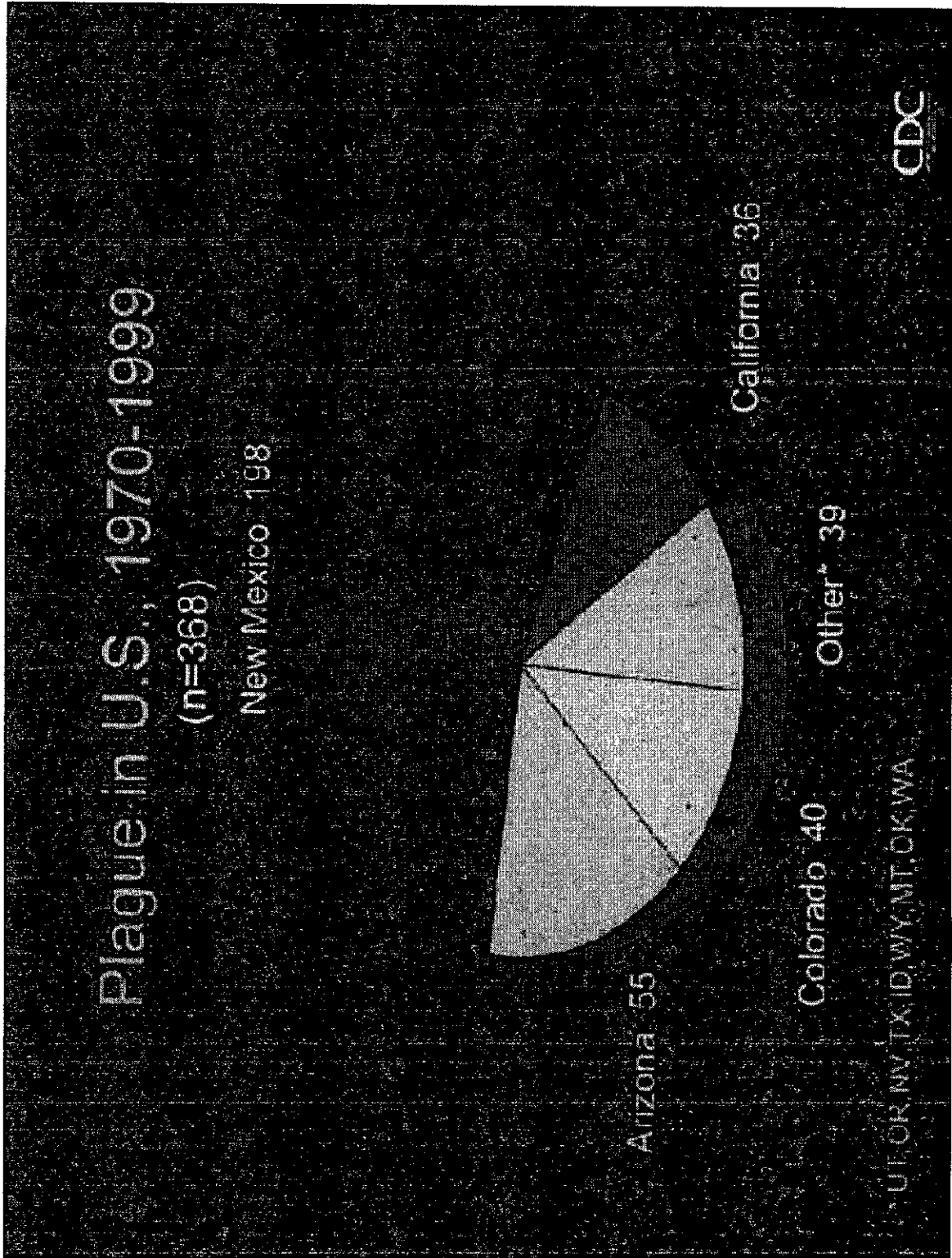
終宿主	調査年	検査数	感染数	感染率 (%)
キタキツネ イヌ ネコ タヌキ	1955~1995	20,515	3,106	15.1
		9,792	98	1.0
		91	5	5.5
		47	1	2.1
中間宿主 野鼠類 ブタ	1992	1,204	4	0.33
	1993	2,465	187	7.6
	1994	1,333	83	6.2
	1995	780	55	7.1
	1993	1,100,000	1,556	0.14
	1994	1,070,000	2,332	0.22
	1995	1,030,000	2,587	0.25
ウマ	1993	1,092	9	0.8
	1994	1,418	0	0
	1995	1,900	1	0.05

(北海道エキノコックス対策協議会資料より集計)

[資料 6]: 米国におけるペスト患者報告数 (1970-1999)
(CDC 資料、Dr. K. Gage 提供)



[資料 7]: 米国における州別ペスト患者報告数 (1970-1999)
(CDC 資料、Dr. K. Gage 提供)



[資料 8]: 米国におけるペスト発生の季節変動
(Craven, R. B., Infect. Dis. Clin. North. Am., 5: 165-175, 1991)

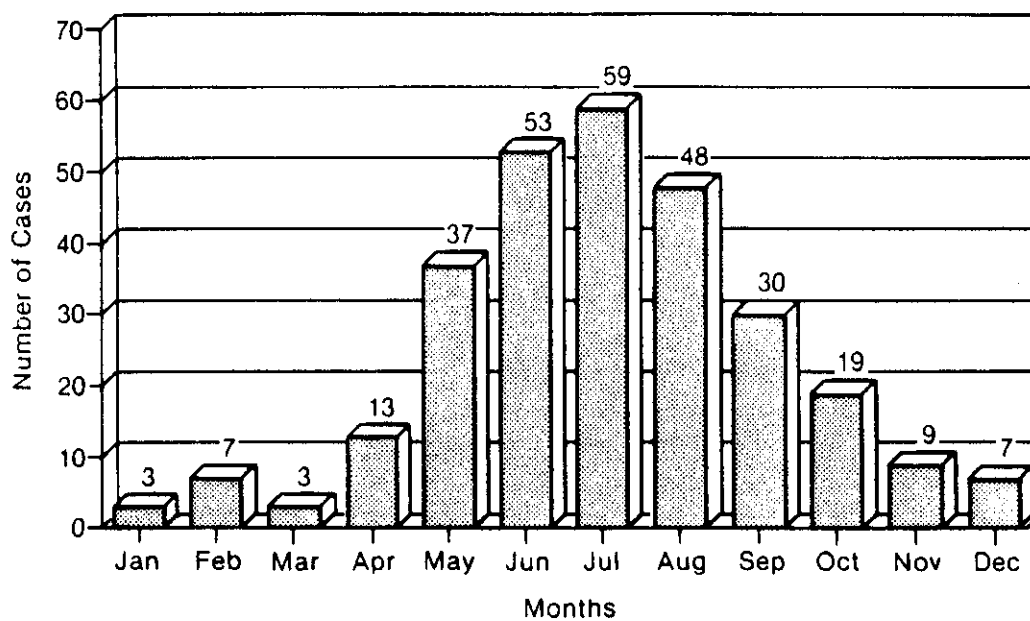


Figure 4. Cumulative reported human plague cases by month of onset, 1970-1989.

[資料 9]: ペスト感染に関する警告ポスター (フォートコリンズ市内)
(CDC 作成、Dr. K. Gage 提供)



PLAGUE WARNING

Chipmunks, ground squirrels, or other wild rodents in this area have been found infected with plague. Insecticides may be used here to kill plague-infected fleas. **PLEASE DO NOT DISTURB** rodent traps or insecticide stations.

PLAGUE CAN BE TRANSMITTED BY:

- The bite of an infected flea.
- Handling an infected rodent.
- Exposure to an infected pet (especially a sick cat).

USE THESE PRECAUTIONS:

1. **SEE A PHYSICIAN** if you become ill within 7 days of your visit to this area. Early symptoms include: fever, chills, headache, muscle aches, a feeling of weakness and, commonly, swollen and tender lymph nodes. Inform your physician that you have been in an area where rodents have plague.
2. It is best to **LEAVE PETS AT HOME**. Keep pets confined or on a leash. Protect them with flea powder and flea collars. If a pet, especially a cat, becomes sick after visiting this area, take it to a veterinarian and inform the vet that it has been in a place where rodents have plague.
3. **AVOID ANIMAL FLEAS**. Do not camp, rest, or sleep near animal burrows. Insect repellent sprayed on socks and trouser cuffs may help.
4. Avoid all contact with chipmunks, squirrels, or other wild animals. **DO NOT FEED**.
5. **DO NOT TOUCH** sick or dead animals. **REPORT THEM** to:

California Department of Health Services
Vector-Borne Disease Section
801 North 7th Street, MS 486
P.O. Box 942732
Sacramento, CA 94234-7320
(916) 324-3738

[資料 10]: 米国におけるヒトおよび動物のペスト発生州 (1995)
(M. B. Madon, J. Vector Ecology 22:77-82, 1997)

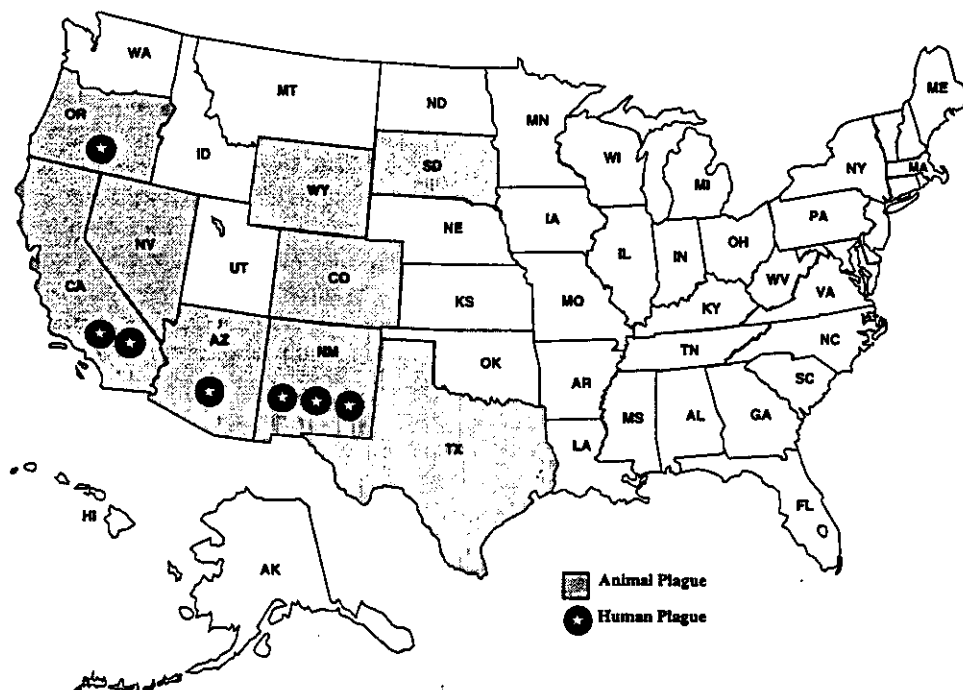
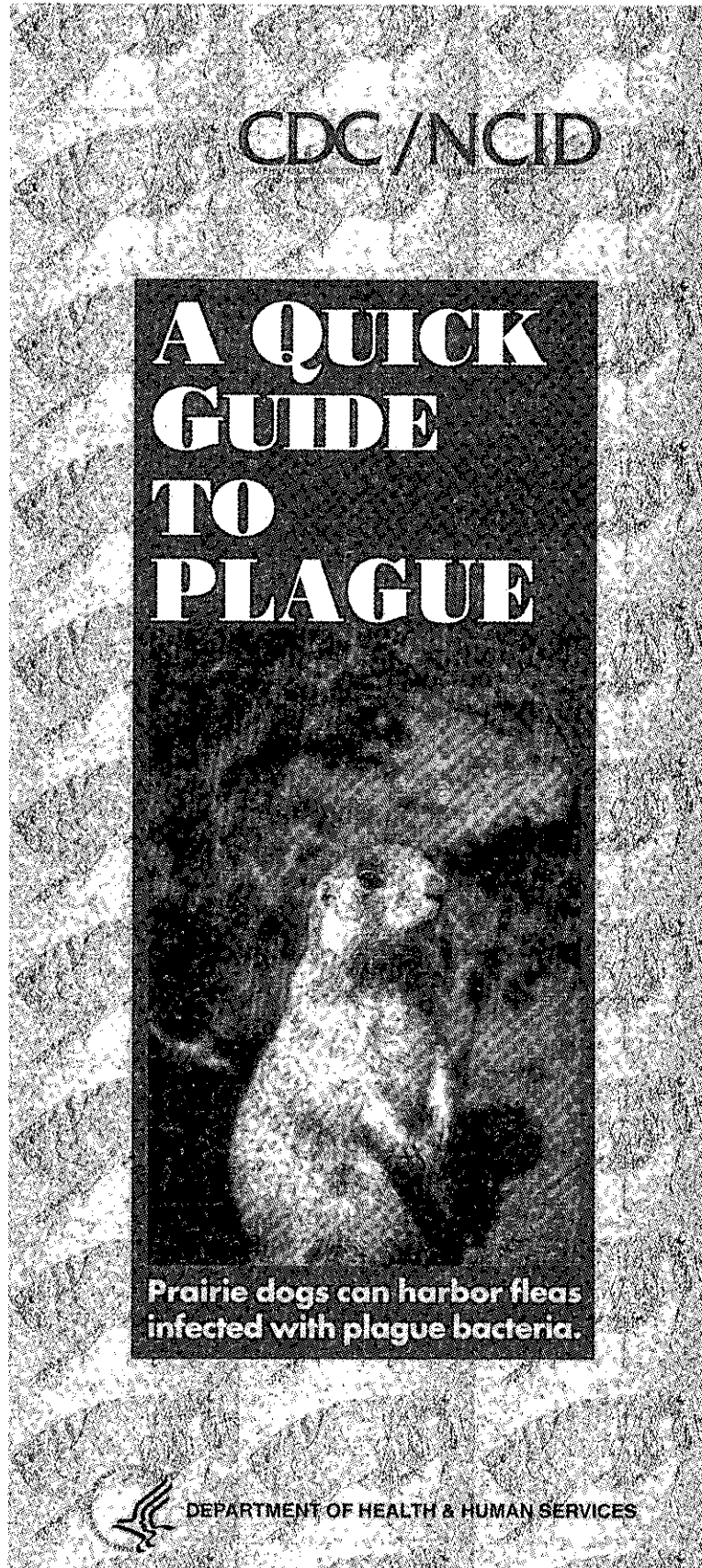


Figure 1. Plague in the United States, 1995

[資料 11] : ペスト感染予防のためのパンフレット (CDC)
(CDC、Dr. K. Gage 提供)



[資料 12]: フォートコリンズ市街地に貼られたペスト予防ポスター
(CDC、Dr. K. Gage 提供)

PUBLIC NOTICE

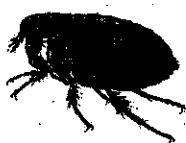
PLAGUE

Plague has been identified in this area. Human plague **CAN BE FATAL** unless properly diagnosed and treated.
Plague bacteria are transmitted by:

FLEAS

and

DIRECT CONTACT WITH INFECTED ANIMALS



(Rodent fleas are particularly dangerous)



(Rodents, rabbits, and cats are known sources of human infection)

FOLLOW THESE RECOMMENDATIONS TO REDUCE THE RISK OF HUMAN PLAGUE:

- ☞ Avoid sick or dead animals.
- ☞ Teach children to avoid dead animals and rodent nests or burrows.
- ☞ Do not place tents or sleeping bags near rodent nests or burrows.
- ☞ Use insect repellent on skin and clothes.
- ☞ Do not allow dogs and cats to roam free in this area.
- ☞ Dust dogs or cats with insecticidal powder to prevent transportation of fleas into homes or vehicles.
- ☞ Cats are very susceptible to plague. Be cautious when handling sick cats that have visited this area.
- ☞ Hunters and trappers should wear gloves when handling dead animals.

CONSULT YOUR DOCTOR IF YOU SUDDENLY BECOME ILL

Most persons become ill two to seven days after being infected with plague bacteria. Typical symptoms include sudden onset of fever, shaking chills, headache, muscle pains, and weakness. Buboes (tender and extremely swollen lymph nodes) often develop and are characteristic of the disease. Buboes usually appear in the groin, armpits or neck regions. Nausea, vomiting and diarrhea are also common.

**PLAGUE CAN BE FATAL UNLESS TREATED IN TIME.
FOR FURTHER INFORMATION CONTACT YOUR
LOCAL HEALTH DEPARTMENT AT:**

[資料 13]: 米国の野生動物および家畜の狂犬病
 (Krebs, J. W., J. Am. Vet. Med. Assn. 215:1786-1798, 1999)

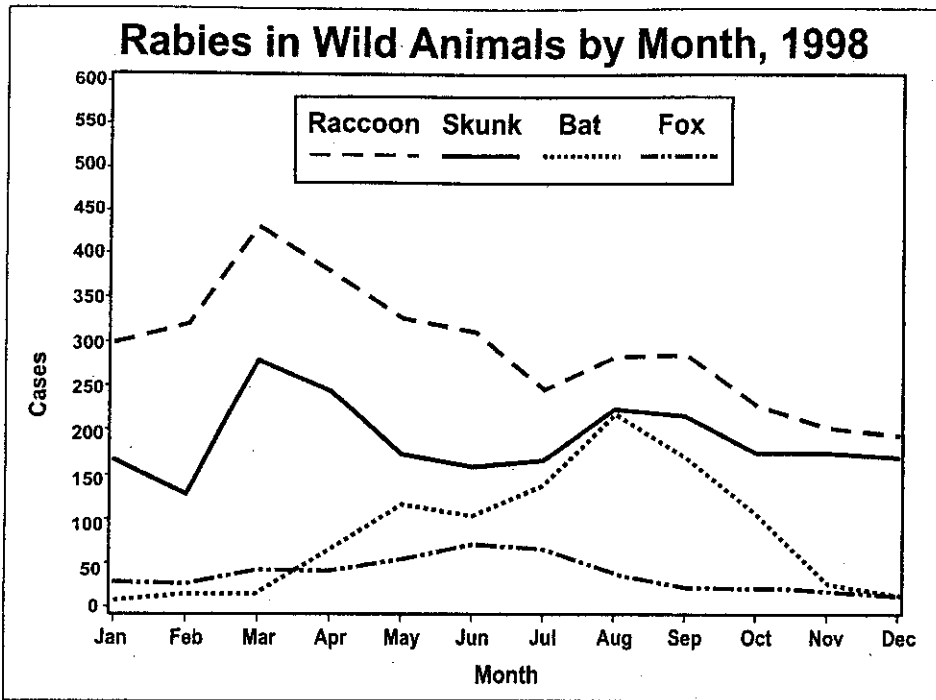


Figure 14—Cases of rabies in wild animals in the United States, by month, 1998.

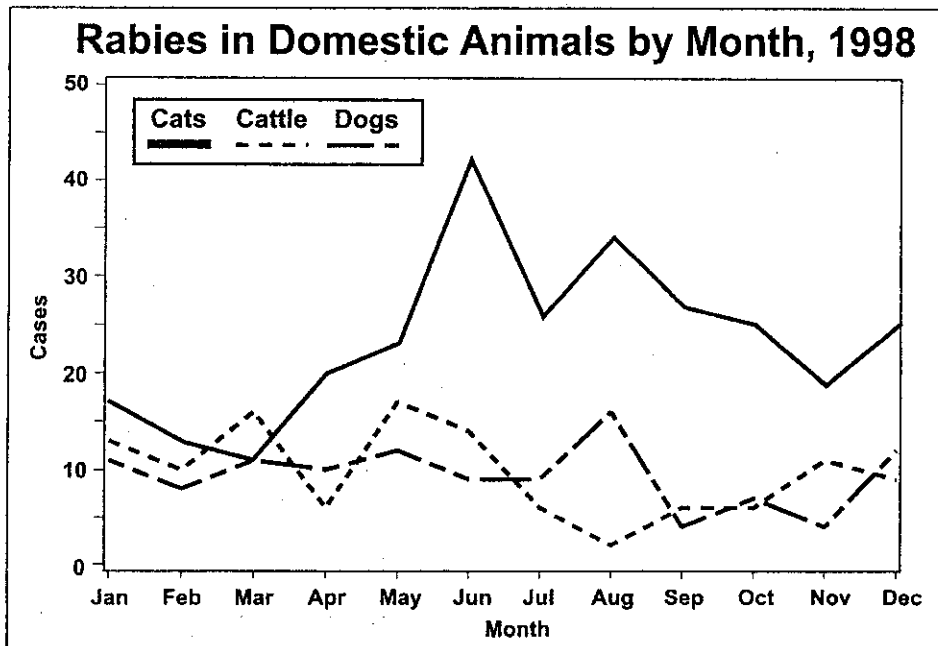


Figure 15—Cases of rabies in domestic animals in the United States, by month, 1998.

UNITED STATES INTERSTATE AND INTERNATIONAL
CERTIFICATE OF HEALTH EXAMINATION
FOR SMALL ANIMALS

895 25

or fraudulent statement on this document, or use such document knowing it to be false, fictitious or fraudulent may be subject to a fine of not more than \$10,000 or imprisonment of not more than 5 years, or both (18 U.S.C. 1001)

Dog Cat Other
 Neutered Spayed Prairie
2 TOTAL NUMBER OF ANIMALS 10
PAGE 1

05456

2. NAME, ADDRESS AND TELEPHONE NUMBER OF OWNER/CONSIGNOR
Floyd Pesicka
Box 543
Platte, SD 57369

USDA License/Registration No. If applicable

Telephone:

4. NAME, ADDRESS AND TELEPHONE NUMBER OF CONSIGNEE
Nick Vogelka
Bellevue Vet Center
Bellevue, NE

USDA License/Registration No. If applicable

Telephone:

COPY

402-29 *1050

5. ANIMAL IDENTIFICATION (To be completed by owner/consignor)

(1)	COMPLETE USDA TAG, COLLAR AND/OR TATTOO NUMBER	BREED, COMMON OR SCIENTIFIC NAME	DATE OF BIRTH OR AGE	SEX	COLOR OR DISTINCTIVE MARKS	OTHER VACCINATIONS, TESTS OR TREATMENT	Type/Result
	5	Prairie Dog	Young	F			
	5	Prairie Dog	Young	M			

OWNER/CONSIGNOR CERTIFICATION: I certify that the information concerning the animals described above in Item 5 is true and correct, and that I am the owner/consignor of such described animals and that I have physical and legal custody of such animals.

ENDORSMENT FOR INTERNATIONAL EXPORT (WARNING: International shipments require certification by an accredited veterinarian. States may also require such certification)
Apply USDA Seal or stamp here

VETERINARY CERTIFICATION: I certify that the animals described in Item 5 have been examined by me this date, that the information provided in Item 5 is true and accurate to the best of my knowledge, and that the following findings have been made. "X" applicable statements.

- I certify that the animals described above, and on continuation sheets if applicable, have been inspected by me this date and appear to be free of any infectious or contagious diseases and to the best of my knowledge, accurate thereon, which would endanger the animal or other animals or would endanger public health.
- I certify that the animals described above, and on continuation sheets if applicable, have been inspected by me this date and appear to be free of physical abnormalities which would endanger the animal.
- To my knowledge, the animals described above, and on continuation sheets if applicable, originated from an area not quarantined for rabies and have not been exposed to rabies.
- I hereby certify that the animal(s) in this shipment is (are), to the best of my knowledge, acclimated to air temperatures lower than 72°s (60°s).

NAME, ADDRESS AND TELEPHONE NUMBER
Platte Veterinary Hospital
W. Highway 44 Box 755
Platte, SD 57369
Telephone: 605-337-2666

SIGNATURE: _____ DATE: _____
Accredited Yes No
LICENSING STATE _____
This certificate is for 30 days after issuance.

[資料 14]: 州間移動プレーリードッグの健康証明 (Dr. J. Gomez 提供)

[資料 15]: 輸出向けプレーリードッグの健康証明
(Dr. J. Gomez 提供)

UNITED STATES ORIGIN HEALTH CERTIFICATE
(The Disponent does not require Certificate of Inspection of Export Animals, VS Form 17-17)

#4623152941

1. DATE ISSUED: 6/15/99
2. U.S. PORT OF EMBARKATION (City & State): DFW
3. STATE CODE: 48

4. SEEDLING/Check
5. NO. DOSES OF SEMEN:
6. TRANSPORTATION CLASS: 3
7. SPECIES (Check one - use VS form 17-4 for Poultry):
 01 BOVINE 02 PORCINE 03 OVINE 04 CAPRINE
 05 EQUINE 06 OTHER (VALIF, MANNA)
 09 OTHER (see 17) **White-tailed Prairie Dogs**

8. FARM ORIGIN: **Joe Bill Rogatz, Flyers Blvd and Anhalt, 1902 Cedar Ave., Lubbock, Texas 79404**

9. INDIVIDUAL IDENTIFICATION: **1 male, 2 females**

10. NEGATIVE TUBERCULIN READING: **49 HRS. 72 HRS.**

11. BRUCELLA BLOOD SAMPLE COLLECTED:

12. NEGATIVE RESULTS OF OTHER TESTS: **NEGATIVE**

13. CONSIGNEE'S NAME AND STREET ADDRESS (Include address): **Sachiko and Kay Takahashi, Same**

14. CONSIGNEE'S CITY (or Town): **Tokyo, Japan**

15. DESTINATION COUNTRY: **Japan**

16. ENTER CODE: **JA**

17. SIGNATURE OF ISSUING VETERINARIAN: **Roddy K. Williams, DVM**

18. DATE ENDORSED: **6/16/99**

19. NAME OF ENDORSING FEDERAL VET. OFFICE: **Fort Worth, Texas**

20. SIGNATURE OF ISSUING VETERINARIAN: **Roddy K. Williams, DVM**

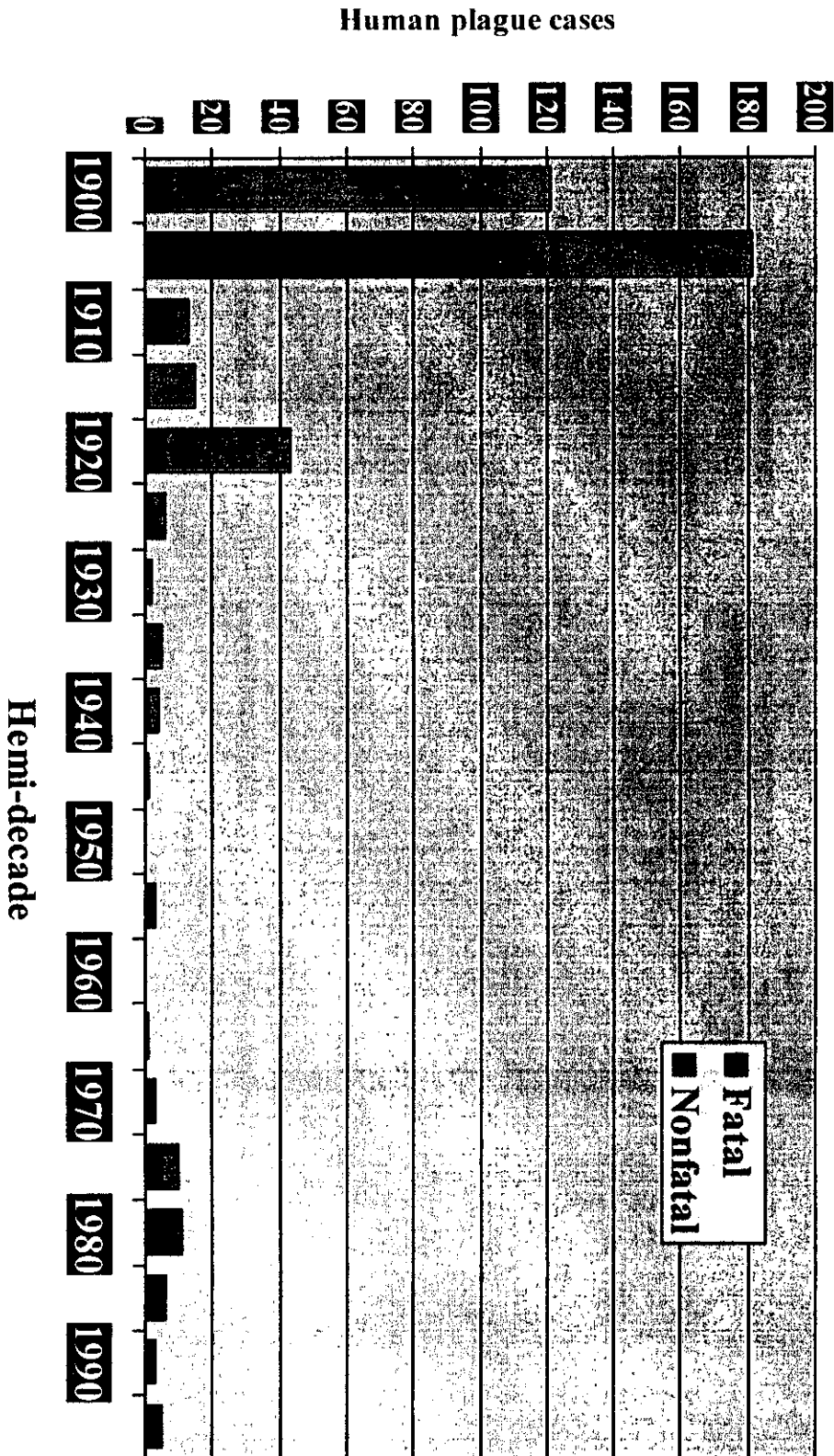
21. STATUS: State Federal Accredited

22. TOTAL NO. ANIMALS (Certified No. from all attached VS Forms 17-17A): **7**

23. SIGNATURE OF EMPLOYING FEDERAL VETERINARIAN: **Roddy K. Williams, DVM**

VS FORM 17-140 (OCT 91) Previous editions may be used.

[資料 16]: カリフォルニア州におけるペスト患者数の推移
 (カリフォルニア州媒介動物疾病部資料、D. C. Fritz 提供)



Human plague in California, 1900 - 1999

[資料 17] : ペスト感染予防のためのパンフレット (カリフォルニア州)
 (カリフォルニア州媒介動物疾病部発行、Dr. C. Fritz 提供)

FACTS ABOUT PLAGUE IN CALIFORNIA



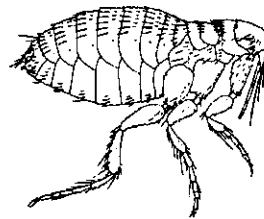
Plague is a highly infectious bacterial disease which primarily affects rodents. Humans and their pets (dogs, and especially cats) can get plague if they visit or live in areas where wild rodents are naturally infected. The disease may also occur in rats that can live in close contact with people.

This is the same disease that ravaged Europe in the 6th Century (the Plague of Justinian) and again in the 14th Century (the Black Death). At the present time, plague in humans is relatively rare, and can be treated successfully with modern antibiotics. However, it is vital that the disease be diagnosed and treated in its early stages. If not, it is often fatal and, if lung infection (plague pneumonia) develops, it can be transmitted directly and rapidly to others.

EXPOSURE TO PLAGUE

People can get the disease from animals in several ways. The most important routes of transmission are:

1. BITES OF FLEAS FROM INFECTED RODENTS



Hungry fleas will leave a sick or dead rodent to find another host and can bite people.

2. DIRECT CONTACT WITH SICK ANIMALS.



The bacteria in the blood or other body fluids of an infected animal can enter through cuts and abrasions on the hands or mucous membranes.

3. PET INVOLVEMENT. (1) Infected rodent fleas can be brought into the home or campsite by a dog or cat. (2) Plague pneumonia can be caught from a sick cat that is coughing or sneezing.

